

ECT/JP 2004/019303

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開実用新案公報 (U)

(11) 実用新案出願公開番号

実開平7-8430

(43) 公開日 平成7年(1995)2月7日

(51) Int.Cl. ⁹	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
E 0 2 B 5/00				
	13/00	3 0 1		
E 0 3 F 5/042		9126-2D		

審査請求 有 請求項の数 1 (全 2 頁)

(21) 出願番号 実開平5-48145

(22) 出願日 平成5年(1993)7月5日

(71) 出願人 593164550

田畑 近

鹿児島市下伊敷町1538番地5

(72) 考案者 田畑 近

鹿児島市下伊敷町1538番地5

(54) 【考案の名称】 摺付水路を取り付けた曲線水路

(57) 【要約】 水路の摺付部と湾曲部の外周壁高を内側周壁高より高くし遠心力に伴う水面上昇により越流を阻止し、水路の法面崩壊を未然防止する目的を持つものである。

【構成】 水路の摺付部と湾曲部の断面を、上・下流部水路の断面と同一とし、併せて水路の外周壁高を内周壁高より高くし、しかも、同一品質のコンクリートで製品化されたものである。

1

【実用新案登録請求の範囲】

水路の湾曲部（屈曲部）に設置する摺付け水路を取り付けた曲線水路である。

【図面の簡単な説明】

図-1は、本考案のコンクリート製下流側摺付水路（工場製品）の断面図

図-2は、本考案のコンクリート製下流側摺付水路（工場製品）の斜視図

図-3は、本考案のコンクリート製上流側摺付水路（工場製品）の断面図

2

* 図-4は、本考案のコンクリート製上流側摺付水路（工場製品）の斜視図

図-5は、従来使用して来たコンクリート三面張水路（現場打ち）の断面図

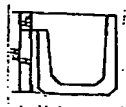
図-6は、従来使用して来たコンクリート三面張水路（現場打ち）の斜視図

図-7は、本考案のコンクリート製曲線水路（工場製品）の断面図

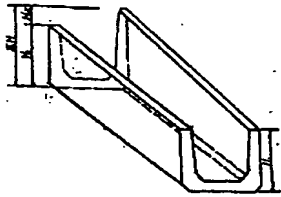
図-8は、本考案のコンクリート製曲線水路（工場製品）の斜視図

*10 品の斜視図

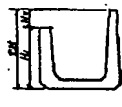
【図-1】



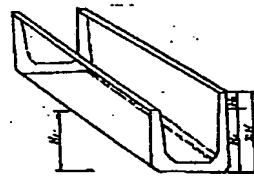
【図-2】



【図-3】



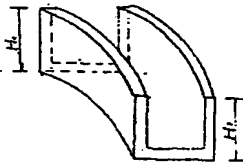
【図-4】



【図-5】



【図-6】



【図-7】

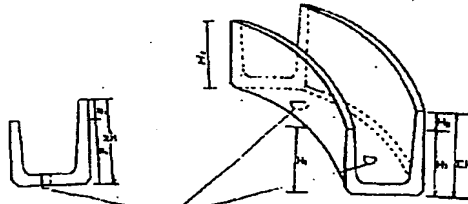


図-7

吊り鉄軸

図-8

【考案の詳細な説明】

摺付け水路を取り付けた曲線水路は、一定の流量、流速を確保するため、湾曲部の外周壁高を内周壁高より嵩上げ、また、湾曲部と上・下流水路の摺付けを一体的構造物とし、遠心力に伴う水面上昇による水の跳水・越流を阻止し、法面崩壊等の災害の発生を未然に防止する役割を持つ。

そこで、従来とられて来た水路の湾曲部の越流対策としては、

- (1) 水路の湾曲部を現場打ちコンクリート三面張で施工している。
- (2) 水路の湾曲部の水勢を緩和する目的でそのか所に合流槽の設置を行っている。

従って、

- (1) は、現場打ちコンクリート三面張のため、工期と労務を多く要する。
- (2) は、合流槽に土砂・浮遊物が多く堆積し、上流水路へのバック・ウォーターが起こり、越流の原因となり災害の誘因となっている。

そこで、本製品は、工場で製造するので品質の管理が徹底し、しかも工事現場においては、労務者の不足が解消され、併せて工事期間の短縮が図られ さらに、水路の維持管理も省カ化される等、多くの有利性を備えている。

また、この曲線水路には、2 か所吊り鉄輪を設け運搬や施工に際し、取り扱いが容易なようにした。

従って、私の考案による摺付水路を取り付けた曲線水路は、湾曲部の法面崩壊を未然に防止する事が、一挙に解決した。

現在、この摺付水路と曲線水路は、圃場整備事業、農地保全対策事業、農道整備事業等の水路に広く使用され、発注官公庁・設計業者、施工業者等高い評価を得ている。